

- 日本郵船株式会社は、「総合物流企業の枠を超え、中核事業の深化と新規事業の成長で、未来に必要な価値を共創します」というビジョンを掲げ、LNGを燃料とする船舶の導入や、新たな推進システムの開発、アンモニア燃料の利用、効率的な運航技術の導入といった船舶脱炭素化に向けた取組を行います。
- これにより、2030年までに当社及び国内外の連結対象子会社におけるScope 1+2のGHG排出総量を2021年度比で45%削減し、2050年までにScope3も含めたネットゼロを達成することを目指し、環境負荷を低減しつつ、競争力の強化を図ります。

1. 事業適応計画の実施期間

2025年3月～2035年3月

2. 環境への負荷の低減に関する目標

2050年までにScope3も含めたネットゼロを達成することを目指し、船舶脱炭素化に向けた取組を通じて、2030年度までにGHG排出量（Scope1+2）を45%削減することを目指し、計画終了時点において一層の削減を目指す。

3. 生産性向上目標・新需要開拓目標

連結修正ROAを2%ポイント以上向上させる。

4. 支援措置

金融支援（ツーステップローン・利子補給）

5. 認証を受けた外部評価機関

DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

<取組の内容のイメージ>

